

国民健康保険

今年度も黒字 6年連続

基金は6年で6倍 1億7千万円から10億7千万円に



宇治市は、国民健康保険運営協議会（「運協」）に平成26年度の決算見込みを示しましたが、今年度も黒字が見込まれ、6年連続の黒字となります。

昨年も「運協」に、「平成25年度は約4億6千万円の黒字見込み」と報告していましたが、結果は6億4千万円もの黒字となりました。

今年度の黒字額は、2億6923万円になるとして、前年度の黒字分（繰越金）を12月議会に補正予算を組み、すでに3億1265万円を保険給付費に、3億2114万円を基金に繰り入れていきますから、基金繰入金を含めると5億8千万円になります。

市は、黒字分を基金に積み立て、平成21年度末1億7千万円であった基金は、平成26年度末で10億7789万円となり、6倍を超えています。

市は、基金の目的を「（病気が蔓延し、予算を大幅に上回る医療費が必要になるなど）不測の事態への対応」のためとしています。

しかし、12月議会で今年度は医療費が増えて当初の予算では不足すると3億1265万円を増額しましたが、基金を取り崩すのではなく、繰越金を活用しています。過去にも、「不測の事態への対応」するために、基金を取り崩したことはありません。

16世帯に1世帯 正規の保険証が使えず

国保の短期証発行は、1418世帯、資格証交付は、213世帯（26・12・31現在）。国保加入世帯の〇〇世帯に1世帯が正規の保険証が使えません。これは、保険料が高すぎて払えないからです。

国民健康保険の決算状況

（ ）内は運協への決算見込みの報告

	国保料（値上げ率）	黒字額	年度末基金
2009年度 (平成21年度)	医+後 3.99% 介 5.42%	(2億7,665万円) 5億5,414万円	1億7,206万円
2010年度 (平成22年度)	医+後 4.63% 介 12.93%	(6,245万円) 4億7,295万円	3億8,380万円
2011年度 (平成23年度)	医+後 3.63% 介 22.34%	(4,740万円) 4億3,159万円	4億8,202万円
2012年度 (平成24年度)	医+後 据置 介 据置	(3億2,833万円) 7億2,377万円	6億4,472万円
2013年度 (平成25年度)	医+後 据置 介 据置	(4億5,945万円) 6億4,228万円	9億499万円
2014年度 (平成26年度)	医+後 据置 介 引き下げ	(2億6,923万円) —	10億7,789万円

市長は、国保運営協議会（小永井会長）に、27年度の国保料などについて諮問し、30日に答申が予定されています。



基金積立取りやめるべき 共産党 修正案を提出

平成26年度の国民健康保険会計は6億4千万円の黒字でした。これは市民から保険料を取りすぎたからに他なりません。市は12月議会に26年度の黒字の半額である3億2千万円を基金に積み立てる補正予算を提出しました。これによつて基金残高は10億8千万円にもなります。市は基金の目標額を7億円にしていますが、これが達成できる目処が立ったことから目標額を14億4千万円に増額しました。これでは際限なく積み立てることになります。

取りすぎた保険料は引下げて加入者に還元すべきです。共産党議員団は3億2千万円の基金積立をやめるべきと補正予算の修正案を提案しましたが、自民・公明・民主などが反対したために修正されませんでした。

高すぎる国保料の引き下げを

議員団だより 1月号外
発行 2015. 1. 18
日本共産党宇治市会議員団
宇治市宇治琵琶33市役所内
電話22-3141 FAX 24-7884

